

「うれしいな」

戸外で"砂あそび"を楽しんでいた1歳児のRちゃんは、あそび"疲れて眠"そうな表情を見せていました。

「いっぱいあそんで楽しかったね。お部屋に戻ろうね。」



お部屋に戻ったRちゃんは、Sちゃんの前へ眠"そうな足取りで"歩いていきました。

ゆらゆら...



そして...



月齢の早いSちゃんは、3月生まれのRちゃんの頭をやさしくなでてあげていました。

「まあ、Sちゃん、ありがとう！」

思わず、心が温くなる場面でした。



「たのしいな」

2歳の子どもたちが"遊戯室で、大きい子と一緒に歌や踊り等を楽しんでいました。



お部屋に戻った2歳児のTちゃんとUちゃんは、大きい子のように手あそび"を始めると他の子も集まってきました。



たどたどしい口調ながらも子どもたちは大盛り上がりです。



いつのまにか、クラスのみんなが手あそび"の輪に加わっていました。よくわからない所は、保育士がフォローします。



異年齢児と触れ合う楽しさから、子どもたちひとりひとりのあそび"への新たな意欲につながっていくよう、援助かしていきたいと思っ"ています。